


2018年
8月号
Vol.242

はあ〜てい

Hearty

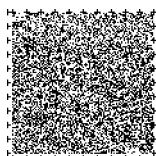
 この広報誌には、赤い羽根共同募金の配分金が使われています。

誰もが安心して笑顔で暮らせる地域づくり ～認知症を知って、地域で支える取り組み～



真砂小学校での養成講座の様子

真砂地区では、5年前から毎年『認知症サポーター養成講座』を開いています。昨年からは、小・中学校で地域の人と一緒に養成講座を受講しています。(3ページにつづく)



認知症を知りましょう

認知症とはどのような病気なのでしょう？超高齢化社会を迎えている日本では、2025年には5人に1人が認知症を発症するとも言われています。

認知症とは、何らかの原因で、脳の神経細胞が壊れることで、理解する力や判断する力がなくなってしまい、社会生活や日常生活が困難になってしまう病気です。

認知症とはどのような病気なのか、また、認知症の人を支える取り組みについて取り上げていきたいと思ひます。

認知症の種類

認知症のうち、大半を占めるのが『アルツハイマー型認知症』です。次に多いのが『レビー小体型認知症』『脳血管性認知症』です。また、65未満で発症する『若年性認知症』も増えています。

認知症の症状

認知症の症状には、『中核症状』と『周辺症状』があります。

『周辺症状』は周囲の環境や対応によって症状が良くなることもあります。認知症の人を否定するのではなく、理解し手助けなどをしてあげましょう。

中核症状

- ・体験した出来事を忘れてしまうなど (記憶障害)
- ・場所や時間が分からなくなるなど (見当識障害)
- ・会話の内容を理解できないなど (判断力の障害)
- ・日常生活動作がこなせなくなるなど (実行機能障害)

周辺症状

- ・妄想 (財布などを誰かに盗まれたと思うなど)
- ・不安 (出来ていたことができなくなったことなどへの不安)
- ・徘徊 (知っている場所で道に迷うなど)
- ・抑うつ状態 (意欲が低下し何もしたくなくなるなど)



周りの環境や接し方で症状が改善することも・・・

認知症を理解し、接し方を工夫することで、認知症症状が和らいだり、改善することもあります。

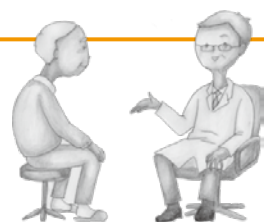
認知症の人の発言や失敗などに対し、全て否定するのではなく、受容し安心感を与えることが大切です。

食事したばかりなのに『食事はまだ?』という問いかけに、『さっき食べたでしょ!』というのではなく、『今準備しているのでお茶でも飲んで待っててくださいね』というだけで、認知症の人に与える安心感は違ってきます。

早期診断・早期治療を

認知症には、早期に治療することで治せるものもあります。また、薬などで進行を遅らせることができるものもあります。

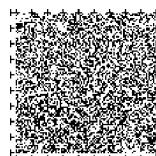
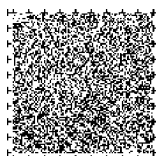
『おかしいな』『いつもと違う』など、違和感を感じたら、相談や受診されることをお勧めします。



認知症のこと・病気のこと・介護のこと・お金の管理・消費者被害・すまひのこと・安否確認など・・・

高齢者に関する医療や介護についてのご相談・お問い合わせは

- 東部・中部地域包括支援センター (医師会病院1階)・・・TEL: 31-1010
- 西部地域包括支援センター (「ますだ」ハイツ2階)・・・TEL: 22-2028
- 美都地域包括支援センター・・・TEL: 52-3335
- 匹見地域包括支援センター・・・TEL: 56-0539



認知症になっても安心して笑顔で暮らせる地域を目指して

～認知症サポーターの取り組み（真砂地区）～



真砂中の生徒さん



齋藤さん

真砂地区のみなさん

『認知症サポーター』とは、なにか特別なことをする人ではありません。認知症について正しく理解し、偏見をもたず、認知症の人や家族を温かく見守るサポーターです。認知症で困っている人を見かけたら、「大丈夫ですか？」と声を掛けたり、気になる高齢者がいたら民生委員に伝えることも大切な役割です。日々の暮らしの中でその人ができる範囲で、認知症の人を支援していくことが『認知症サポーター』の役割なのです。

真砂地区では、この取り組みを『ときめきの里真砂（支え合い部会）』の齋藤義則さんが中心となって行っており、小さい子どもからお年寄りまで、地域の住民みんなが『認知症サポーター』となって、認知症になっても安心して笑顔で暮らせるまちづくりを目指しているそうです。

現在までに約130名の住民が受講しており、これからも毎年開催し、認知症についてさらに学びを深めていくとのことでした。



あなたも『認知症サポーター』になりませんか!?

『認知症になっても安心して笑顔で暮らせるまちづくり』
を一緒に目指しませんか？

【認知症サポーターになるには】

認知症サポーター養成講座を受講すればどなたでもなれます。

- ・ 講座は60～90分です
- ・ 講師は市町村から派遣します（無料）
- ・ 受講するとオレンジリング（支援の目印となるもので、全国共通のリングです）をお渡しします

【講座を開催いただける団体を募集しています】

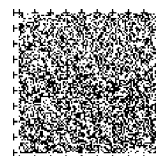
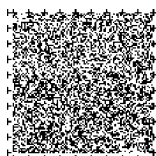
自治会・各種団体・職場・学校など、どこへでも出向きます。子どもも大歓迎です。
（おおむね5名以上の団体）



お問合せ先

益田市役所 高齢者福祉課（平日 8:30～17:15）

TEL: 31-0245 FAX: 24-0181



社協事業へのご協力に感謝

少子高齢化をはじめ、引きこもりや経済的な困窮、さらには地域でのつながりが薄くなったことで、様々な福祉課題が増えています。

地域における多様なニーズに対応し、『誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり』をすすめていくために、市民の皆さまからのご支援・ご協力をいただきながら、以下の各種事業を推進いたしました。ご協力ありがとうございました。引き続き、ご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

平成29年度 社会福祉協議会事業報告 (H29.4.1~H30.3.31)

あんしん生活支援センター事業の推進

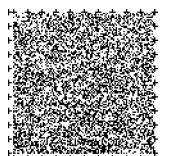
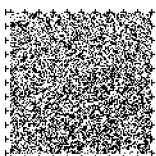
- あんしん生活支援センターによる包括的支援体制の整備
相談件数 253件
- 総合相談事業
ふれあい福祉相談 来所相談 1件
一般相談 83件
法律相談 24件
老人母子相談 15件
電話訪問 高齢者等登録者80名に電話
- 福祉資金貸付事業
民生融金 31件 (1,517,000円)
生活福祉資金 3件 (3,008,000円)
- 入居債務保証支援事業
相談件数 9件 利用件数 8件
- 生活困窮者自立支援事業
相談件数 34件 プラン作成決定件数 21件
- フードバンク事業
支援件数 87件 品数 1,172件
- 日常生活自立支援事業
問合せ相談件数 1,397件 実利用者数 76件
- 法人後見事業
新規受任件数 4件 継続受任件数 3件 計 7件
- 市民後見推進事業
市民後見推進事業運営委員会 年4回開催
出前講座(延べ16団体、325名受講)
市民後見人スキルアップ講座(全4回)
講演会の開催

ボランティア・福祉教育の推進

- ボランティアセンター事業
ボランティア活動の促進・サポート
ボランティア保険への加入促進
ボランティアに関する広報啓発
益田市ボランティア連絡会の活動支援
ボランティアセンター研修会の開催
災害ボランティアセンター設置運営訓練の実施
- サマーボランティアスクールの開催 147名の参加
- 福祉教育指定校の支援
- 出前手話講座の開催
小中高等学校 8校 (356名受講)
- 福祉出前講座の実施
32回実施(延べ受講者数 699名受講)
- あいサポート運動の推進
11回実施(受講者 490名受講)

地域福祉事業の推進

- 第3期益田市地域福祉計画地域福祉活動計画の策定
- ふれあいのまちづくり事業
ふれあいネットワークまちづくり研修会の開催
136名参加
- 地区社協及び各種福祉団体の活動支援
- 地域福祉活動助成事業
助成団体数 10団体(助成総額1,127,900円)
- ふれあい・いきいきサロン事業
新規サロン件数 5件 継続サロン件数 76件 計 81件
- 高齢者サロン等交流会助成事業
助成件数 9件 助成総額 347,000円
- ふれあい子育てサロン事業
新規サロン件数 0件 継続サロン件数 11件 計 11件
- 多目的福祉バス運行事業
延べ利用団体数 142団体(延べ利用者数 3,093名)
- 広報啓発機能の充実強化
機関誌発行事業 社協だより「はあてい」6回発行
社協ホームページ事業
- 友愛メール発送事業[美都支所] 延べ945名
- 安心お買い物宅配サービス事業[匹見支所]
登録 16世帯 延べ78回利用
らくらくサロン 4回開催
- 小型除雪機・祭壇・車いす貸出事業[匹見支所]
除雪機18件 祭壇2件 車いす11件
- 益田市総合福祉センター事業
- 社会福祉法人福祉施設との連携協働による地域公益活動の推進
- 益田市社会福祉大会の開催 約250人参加
- 各種表彰候補者の推薦
- 益田市民余芸大会の開催
- 児童福祉対策事業の推進
益田市立児童館[本所]
(益田児童館・吉田児童館・高津児童館・飯田児童館の運営)
美都地域子育てサロンの設置運営[美都支所]
益田市立匹見保育所の運営[匹見支所]



在宅・施設サービスの推進

<本所>

- 指定居宅介護支援事業所 延べ利用者数 1,087名
- 指定訪問介護事業所 延べ訪問回数 5,992回
- 指定訪問入浴介護事業所 延べ訪問利用者数 1,400名
- 高齢者世話付住宅(シルバーハウジング)生活援助員派遣事業 44世帯

<美都支所>

- 美都地域包括支援センター
介護予防ケアプラン作成 403件 延べ相談件数 139件
- 美都町居宅介護支援事業所 延べ利用者数 540名
- 美都町ホームヘルパーステーション
延べ訪問回数 2,581回
- 益田市立美都デイサービスセンター
延べ利用者数 6,070名
- 益田市立特別養護老人ホーム美寿苑
介護老人福祉施設〔入所定員30名〕定床利用率 98.9%
短期入所生活介護事業〔利用定員6名〕
月平均利用者数 21名
- 益田市立老人ホーム春日荘
養護老人ホーム〔入所定員50名〕
外部サービス利用型特定施設
訪問介護 28名 / 通所介護 6名 / 福祉用具貸与 17名
- 配食サービス事業 延べ利用者数 935名
- 外出支援サービス事業 延べ利用者数 4名



<匹見支所>

- 匹見地域包括支援センター
介護予防ケアプラン作成 454件 延べ相談件数 120件
- 匹見居宅介護支援事業所
延べ利用者数 453名
- 匹見指定訪問介護事業所 延べ訪問回数 1,308回
- 通所介護事業(デイサービスセンター)
匹見指定もみじ通所介護事業所 延べ利用者数 2,165名
匹見指定通所介護事業所 延べ利用者数 463名
- 益田市立特別養護老人ホームもみじの里
介護老人福祉施設〔入所定員30名〕定床利用率 97.4%
短期入所生活介護事業〔利用定員8名〕
月平均利用者数 19名
- 益田市立匹見高齢者生活福祉センターふれあいの園
〔入所定員12名〕
月平均利用者数 10名
- 配食サービス事業 延べ利用者数 755名

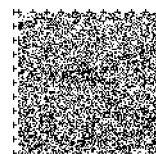
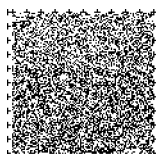
社協基盤の強化

- 組織運営
理事会(5回)、評議員会(3回)の開催
- 財務運営
社協会費(一般会費・賛助会費・特別会費)
17,414口 14,725,000円
善意寄附金(香典返し・見舞い返し・一般寄附)
171件 5,754,931円
- 人材確保・育成
職員全員研修会(2回)

平成29年度 一般会計決算

収入項目	
会費収入	14,725,000
寄付金収入	6,249,731
経常経費補助金収入	101,176,280
受託金収入	312,843,636
貸付事業収入	1,451,000
事業収入	8,063,822
負担金収入	228,110
介護保険事業収入	541,278,608
保育事業収入	738,362
障害福祉サービス等事業収入	4,886,350
受取利息配当金収入	25,330
その他の収入	14,977,870
基金積立資産取崩収入	2,035,108
積立資産取崩収入	70,000,000
その他の活動による収入	48,048,576
前期末支払資金残高	168,909,386
収入合計	1,295,637,169

支出項目	
人件費支出	726,295,748
事業費支出	210,829,359
事務費支出	82,234,132
利用者負担軽減額	188,880
貸付事業支出	1,517,000
共同募金配分金事業費	11,759,197
助成金支出	16,199,792
負担金支出	802,840
その他の支出	636,570
固定資産取得支出	1,998,984
ファイナンス・リース債務の返済支出	5,203,440
基金積立資産支出	658,589
積立資産支出	70,000,000
その他の活動による支出	26,011,940
当期末支払資金残高	141,300,698
支出合計	1,295,637,169

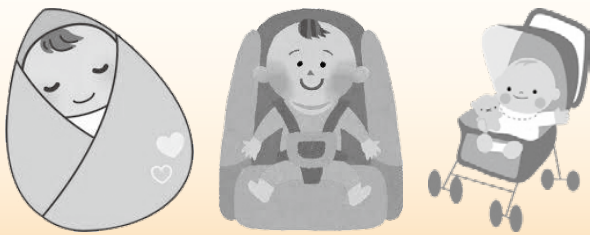


福祉用具貸出のご案内 (美都支所)

子育て用品貸し出します

美都地域内において、6歳未満のお子さんをお持ちのご家族、またはお子さん・お孫さんの帰省時等により短期的なご利用のある方に対し、チャイルドシートやベビーゲート(防護柵)など、子育てに関する用具の貸し出しを行っております。

貸し出しご希望の方、またお問い合わせ等ございましたら、お気軽に益田市社会福祉協議会美都支所(Tel: 52-2392)までご相談ください。



介護の入門的研修 参加者募集!!

介護の基礎を学びませんか?

日常に役立つ知識から、介護の現場で最低限必要な基本的な知識や技術まで、分かりやすく楽しく学べます。全課程を修了された方には県知事から修了証が発行されます。

大人気の研修ですので申し込みはお早めに!!

- 【対象者】 次のいずれかに該当する方
介護に関心がある方で現在介護職として就業していない方、これから介護の職場に就業を希望される方
- 【主な内容】 日常に役立つ介護の知識、介護職として必要な知識・技術
- 【募集定員】 20名 【受講料】 無料
- 【会場・日程】 益田(総合福祉センター 大集会室)
H30年9月4日(火)~6日(木)
- 【申込締切】 8月20日(月)
- 【問合せ先】 社会福祉法人 島根県社会福祉協議会
(島根県福祉人材センター石見分室)
TEL: 0855-24-9340

成年後見制度…市民後見人…なんだかむずかしくて、よく分からないんだよなあ…

じゃあ、いま後見活動をしているひとにきいてみようか。

益田市社会福祉協議会
支所: 益田・鹿足成年後見センター

8月23日(木)から
も開催されるのか…
市民後見人養成講座



©2004 2017 moznoko

市民後見啓発講演会

後見活動はだれでもできる

あんしんな暮らしの お手伝い

～北九州市社会福祉協議会
権利擁護・市民後見センター「らいと」の取組み～

北九州市社会福祉協議会
権利擁護・市民後見センターらいと次長
講師 南里 佳代子氏
同センター 法人後見支援員
高松 直子氏

会場 益田市総合福祉センター大集会室 13:30~15:30
(開場13:00)

問い合わせ・お申込は
〒698-0036 益田市須子町3-1益田市総合福祉センター内

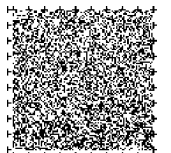
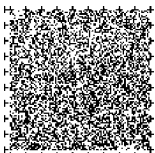
TEL 0856-22-7256 FAX 0856-23-4177

益田市社会福祉協議会 担当・河上まで

当日は会場でフードバンク提供品の募集もおこないます!

入場無料 手話通訳・要約筆記あり
8/5
Sunday

8月23日(木)より市民後見人養成講座を開講します。詳しくは7月以降、各地区公民館においてある募集要項をご覧くださいか、益田市社会福祉協議会までお問い合わせください。



平成30年度 社協会費ご協力のお願いについて

益田市社会福祉協議会は、皆さまのご支援ご協力により、昨年度も福祉事業を滞りなく展開できましたことを、心から感謝申し上げます。平成30年度も住民主体を基本に『誰もが安心して暮らせるまちづくり』を積極的に推進してまいります。



今年度も地域福祉事業を推進するため、社協会費につきまして、皆さまからのご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

【社協会費の種類】

- 一般会費： 800円／世帯（地区社協・自治会を通して各世帯にお願いしております）
- 賛助会費：1,000円以上（社協役員、評議員、福祉関係機関・団体及びその役員、その他個人）
- 特別会費：5,000円（篤志家、会社、団体等）

【会費の使途】

講演会・研修会、サマーボランティアスクール、出前手話講座
他にも『誰もが安心して暮らせるまちづくり』を進める各種事業の貴重な財源として活用されています。

【申込み方法】

一般会費につきましては、各自治会を通じ、お願いしております。
賛助会員、特別会員のご加入につきましては、直接社会福祉協議会窓口、または下記連絡先にお問い合わせください。

【お問合せ先】 益田市社会福祉協議会 TEL：22-7256 FAX：23-4177まで

善意の輪

（平成30年4月1日～平成30年6月30日）

敬称略

ご寄附ありがとうございます。地域福祉活動事業費や、福祉基金積立の原資として、大切に活用させていただきます。

【香典返し】			
長戸 義雄	金山町	金一封	
宮野 貢	飯浦町	金一封	
上田 進	喜阿弥町	金一封	
横田 勉	向横田町	金一封	
都野守政人	飯田町	金一封	
(故) 増野 力	中須町	金一封	
(故) 宅野 沢雄	内田町	金一封	
眞庭 太樹	向横田町	20,000円	
(故) 小野 省二	中島町	金一封	
石川 保市	久々茂町	金一封	
(故) 中島 修司	須子町	金一封	
(故) 岩野 武則	白上町	金一封	
(故) 中島 肇晃	乙吉町	金一封	
(故) 中島 サダ	下本郷町	金一封	

【香典返し】			
(故) 鈴木 次郎	新潟県糸魚川市	30,000円	
可部 章一	小浜町	金一封	
(故) 宮内 明美	戸田町	金一封	
佐々 利子	高津六丁目	金一封	
(故) 澤江 茂	久城町	金一封	
中田 博	飯浦町	金一封	
(故) 澤江 久美	須子町	金一封	
岩本 直子	桂平町	100,000円	
(故) 竹内 辰穂	喜阿弥町	金一封	
(故) 渡邊 周市	須子町	金一封	
亦賀 弘之	西平原町	金一封	
(故) 宮内 フミ子	戸田町	金一封	
大庭 康裕	乙吉町	金一封	
(故) 宮内 静子	戸田町	金一封	

【香典返し】			
宮川 寿章	美都町三谷	金一封	
藤井 厚志	匹見町広瀬	金一封	
藤井 富子	匹見町広瀬	金一封	
【一般寄付福祉事業へ】			
清水 邦代	白上町	金一封	
カラオケサークル同		金一封	
匿名		金一封	
(有)益田自動車 飯金塗装	東町	金一封	
千波流美里会	白上町	30,000円	
(故) 中湯ヤス子	虫追町	金一封	
カラオケ勝ちゃん 代表 火脚 勝人	美都町丸茂	金一封	

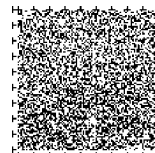
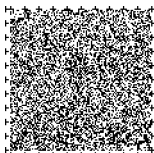
ふれあい福祉相談のご案内 8・9月の相談日

相談	開催日	時間	場所
無料法律相談	8月10日(金)・9月14日(金)	13:00~15:00	益田市総合福祉センター
ふれあい福祉相談	8月10日(金)・9月14日(金)	10:00~15:00	
老人母子相談	8月10日(金)・8月24日(金) 9月14日(金)・9月28日(金)	10:00~15:00	

『どこに相談したらいいの?』という、家庭内外のトラブルや心配ごと等、ふれあい福祉相談をご利用ください! 広く日常生活上の相談をお受けしています。

**お問合せ
ご予約**

益田市社会福祉協議会 (益田市須子町3-1)
TEL: 22-7256 FAX: 23-4177 (月~金 8:30~17:30)



赤い羽根共同募金助成伝達式

6月13日、益田市総合福祉センターにおいて、平成29年度に共同募金運動で市民の皆様からお寄せいただいた寄付金の中から、助成が決定した福祉団体・施設に助成決定書をお渡しする助成伝達式を行いました。

また、共同募金に多額の寄付をして頂いた、国際ソロプチミスト益田様、益田市ボウリング連盟様、安来節保存会益田支部様に、島根県共同募金会会長感謝状を贈呈しました。

平成29年度(30年度事業)助成決定団体は16団体、配分総額は11,399,097円です。

あらためて、市民の皆様の温かいご支援・ご協力に感謝申し上げます。



大田市災害ボランティアセンター運営支援



大田市では、4月9日未明に発生した地震で、14日から災害ボランティアセンターの受け付けを開始し、多くのボランティアが、復興に向けた活動を行っています。

また、この災害ボランティアセンターの運営のために県内及び中国ブロックの社会福祉協議会から多くの職員が派遣されました。益田市社会福祉協議会からも、4月19日から計5名の職員が運営支援にあたりました。

災害ボランティアセンターでは、被災住民からのボランティア要請・受付・調査、ボランティア活動の内容説明・調整など、センターの運営支援に関わらせていただき、貴重な経験をさせていただきました。

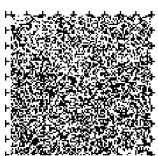
今後、益田市社会福祉協議会として、災害対策に取り組んでいく際には、この経験を活かせるよう努めていきます。

『美都ふくしまつり』開催

5月27日、『みんなで支え合い助け合う福祉のまちづくり』をスローガンに、昨年までは『ほのかまつり』の名称で行われていた『美都ふくしまつり』を開催いたしました。

ステージ上でのアトラクション、地元のお店や福祉事業所による出店、ゲームコーナーなど、多くの方々の協力のもと、施設を利用しておられる方々にも楽しんでいただけるお祭りとなりました。

今後も、「美都ふくしまつり」が地域の皆さまに愛されるお祭りとなるよう、また、住み慣れた地域で安心して暮らせる町となるよう、努めてまいります。



発行: 社会福祉法人 益田市社会福祉協議会
編集: 益田市社会福祉協議会広報運営委員会

「はあーてい」は英語で「心の温かい」、「真心のこもった」という意味をもつ「Hearty」の読みを日本語表記したものです。

〒698-0036 益田市須子町3-1
TEL: 0856-22-7256 FAX: 0856-23-4177
社協e-mail: masuda_h@masuda-shakyou.or.jp

社協ホームページ

益田市社協

検索

